

はじめに

社会環境や生活環境の急激な変化は、児童生徒の心身の健康にも大きな影響を与えており、学校生活においては、生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、児童虐待などの心の健康問題に対応することが求められています。

このような状況の中、学校保健安全法（平成 20 年法律第 73 号で学校保健法から改正）において、新たに、健康観察、教職員等による健康相談・保健指導、医療機関等との連携などについて所要の規定を設けるなど、健康問題の対応の充実が図られ、学校における児童生徒の心身の健康問題の早期発見、早期対応が求められることになりました。

また、「保健室利用状況に関する調査（平成 23 年：日本学校保健会）」では、一日当たりの保健室利用数は各校種共に 25 人前後と多く、身体的な問題とともに心の健康に関する問題を抱える児童生徒や、発達障害に関する問題を抱える児童生徒に多く対応している実態が明らかになりました。

そこで、児童生徒の心の健康問題を学校内外での連携により、早期発見・早期対応し、解決するための参考としていただくために「学校における健康課題解決のためのてびき」を作成しました。

作成に当たっては、第 1 章で課題解決のための視点と健康観察・健康相談の目的と法的位置づけを述べるとともに、各章で保健室利用の現状、心の健康問題の理解と支援・対応、相談窓口としての保健室の役割、支援のためのコミュニケーション力についてまとめ、最終章には心の健康問題の支援と学校内外との連携を理解するための事例を掲載しました。

本書が養護教諭のみならず、教職員に広く活用され、児童生徒の心の健康問題への対応の充実を図るために生かされることを願っています。

平成 26 年 2 月

長野県教育委員会

保健厚生課長 丸山 隆義

学校における健康課題解決のためのてびき

～心の健康問題の早期発見・早期対応・連携のために～

目次

第1章 課題解決のための支援

I 学校保健の5つの目	1
II 健康観察	2
III 健康相談	2

第2章 今、保健室では

「保健室利用に関する調査報告書」から（H23年度日本学校保健会）

I 保健室利用状況	3
II 児童生徒の心身の健康に関する状況	4
III 保健室登校	5
IV 養護教諭に求められる役割	6

第3章 児童生徒の心の健康問題の理解と支援

I 児童生徒の心の健康問題の理解	7
II 児童生徒の心の健康問題への支援と対応	8
1 知的障害・発達障害	8
2 精神疾患	10
3 精神疾患の早期支援の重要性	17

第4章 相談窓口としての役割

I 発達段階別 心の健康問題の特徴	18
II 児童生徒の様子の変化・サインへの気付き	19
III 児童生徒のSOSサインに気付いたら	20
IV 学校内連携の進め方	22
V 相談機関・医療機関へのつなげ方	23

第5章 児童生徒への支援のために

I 児童生徒とのコミュニケーション	24
II 連携のためのコミュニケーション	25
III 保護者とのコミュニケーション	26
IV 児童生徒・保護者を支える支援	26

第6章 課題解決支援事例 ～校内・校外連携を中心に～

事例1 保健室登校を経て学級に戻ることができた児童：小学校	33
事例2 連携支援により高校進学が目標がもてた生徒：中学校	39
事例3 高校入学後欠席が続き就職へ進路変更をした生徒：高等学校	43
事例4 高校在籍中に高等学校卒業程度認定試験に合格した生徒：高等学校	46
事例5 精神疾患を治療しながら高校生活を送り大学進学した生徒：高等学校	49
事例6 自分の体調を管理できるようになった生徒：特別支援学校	52

資料

I 各種シート	
資料1 実態把握のためのチェックシート	59
資料2 連携マップ様式例	61
資料3 プレ支援シート・支援シート	62
資料4 支援会議計画・記録様式例	67
資料5 特別支援教育員との支援連絡票例	68
資料6 医療機関への依頼（紹介依頼）状、御礼状例	69
II 関係機関	70
III 参考資料	72